

■別冊に掲載する「アウトカム指標」について

アウトカム指標は、国の統計調査（住宅・土地統計調査など）の項目を評価指標として設定します。
このため、目標値の根拠となる平成 25 年に実施された住宅・土地統計調査等の結果が公表される 2 月以降に設定する予定です。
アウトカム指標（案）は以下のとおりです。

■アウトカム指標（案）

基本目標	評価指標	概要	指標設定の考え方	データ根拠	現状値
1. 住み慣れた地域で 安心・安全・快適に 暮らせる住宅・住環 境の形成	①高齢者が居住する住宅のバリア フリー化率	一定のバリアフリー化(2箇所以上の手すり設置または屋内の段差解消)に 該当する住宅の割合	高齢者が居住する住宅における日常生活(主に 移動)の安全性確保の達成度を表す指標として 設定	住宅・土地統計調査	37% (平 20)
	②共同住宅共用部分のユニバーサ ルデザイン化率	共同住宅のうち、道路から各戸の玄関まで車椅子・ベビーカーで通行可能 な住宅ストックの割合	共同住宅の共用部分において、誰もが通行しや すいユニバーサルデザイン化の達成状況を表す 指標として設定	住宅・土地統計調査	11% (平 20)
	③住宅の耐震化率	新耐震基準(昭和 56 年基準)が求める耐震性を有する住宅ストックの割合	地震に対する住宅の安全性確保の達成度を表 す指標として設定	住宅・土地統計調査	79% (平 25)
2. 誰もが安定した居 住を確保できる多様 な仕組みの構築	④最低居住面積水準の未満率	世帯人数に応じて、健康で文化的な住生活の基本として必要不可欠な住 宅の面積に関する水準である最低居住面積水準の未満率	健康で文化的な住生活を営む基礎として、セー フティネット機能により達成すべき「最低水準」の 達成状況を表す指標として設定	住宅・土地統計調査	4.4% (平 20)
	⑤子育て世帯における誘導居住面 積水準の達成率	世帯人数に応じて、豊かな住生活の実現の前提として多様なライフスタイル に対応するために必要と考えられる住宅の面積に関する水準である誘導居 住面積水準の子育て世帯における達成率	子育て世帯における世帯人員に応じた誘導居住 面積水準の達成状況を表す指標として設定	住宅・土地統計調査	51% (平 20)
3. 環境負荷の低減に 貢献する住宅・関連 市場の形成	⑥省エネルギー対策率	一定の省エネルギー対策(全部又は一部の窓に二重サッシ又は複層ガラス を使用)を実施した住宅の割合	窓サッシの断熱化による環境負荷の少ない住宅 の普及状況を測る指標として設定	住宅・土地統計調査	39% (平 20)
	⑦新築住宅における認定長期優良 住宅の割合	長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた認定長期優良 住宅の新築住宅における割合	長期にわたり良好な状態で使用するための措置 が講じられた長期優良住宅の供給状況を表す指 標として設定	新潟市調査	13% (平 25)
	⑧リフォーム実施戸数の住宅スト ック戸数に対する割合	増改築、耐震工事及び高齢者のための設備の工事(階段や廊下の手すり の設置、屋内の段差解消等)といったリフォームを実施した住宅の割合	住宅ストックの有効活用による質の向上の進捗状 況と多様なニーズに対応できるリフォーム市場の 整備状況を測る指標として設定	住宅・土地統計調査	4.0% (平 20)
	⑨住宅の利活用期間 (滅失住宅の平均築後年数)	一定期間内に滅失した住宅の平均築後年数	多様な住まい方やニーズに対応した良質な住宅 の供給や、既存住宅ストックの適正化、住宅流通 の活性化等の状況を表す指標として設定	住宅・土地統計調査	29 年 (平 15) ※旧新潟市
	⑩既存住宅の流通シェア	新築を含めた全流通戸数に対する既存住宅の流通戸数の割合	良質な住宅ストックの有効活用の進捗状況と良質 な空き家ストックが有効に活用される中古住宅流 通市場環境の整備状況を測る指標として設定	住宅・土地統計調査	9.0% (平 20)
4. 多様な暮らしを実 現する魅力ある住環 境づくり	⑪まちなみ・景観に対する満足度	現在住んでいる住宅のまわりの環境の「まちなみ、景観」に対する満足度 (満足している、まあ満足しているとする割合)	市民にとって魅力ある住環境の保全・形成による 「まちなみ、景観」に対する市民の満足度を測る 指標として設定	住生活総合調査	※国にデー タ利用の申 請中
	⑫まちなかへの居住ニーズ	まちなかに「住みたい」「どちらかと言えば住みたい」と回答した世帯の割合	良質なまちなか住宅の供給や、まちなかへの都 市機能の誘導によるまちなかへの居住ニーズを 測る指標として設定	住生活総合調査	36% (平 25)

農村集落を意識した指標（案）

基本目標	評価指標	概要	指標設定の考え方	データ根拠	現状値
4. 多様な暮らしを実現する魅力ある住環境づくり	市街化調整区域における住宅の平均延べ面積		農村集落におけるゆとりある住宅づくりの状況を示す指標として設定	住宅・土地統計調査	189 m ² (平 20)
	住宅の平均延べ面積		ゆとりある住宅づくりの状況を示す指標として設定	住宅・土地統計調査	大都市トップ 112 m ² (平 25)
	住宅の広さや間取りに対する満足度	現在住んでいる住宅の「広さや間取り」に対する満足度(満足している, まあ満足しているとする割合)	ゆとりある住宅づくりに対する支援などによる, 住宅の「広さや間取り」に対する市民の満足度を測る指標として設定	住生活総合調査	※国にデータ利用の申請中
	三世代世帯の割合	一般世帯における三世代世帯の割合	多世代同居を支える, ゆとりある住宅づくりに対する支援などによる, 三世代世帯の状況を示す指標として設定	国勢調査	大都市トップ 11% (平 22)